

## 平成30年度 第4回名張市社会教育委員会議（会議録概要）

◇開催日時：平成31年3月27日（水） 13：30～15：30

◇開催場所：名張市役所 庁議室

◇出席委員：福島 雅一委員、藤原 武委員、斉藤 健委員、藤原 佐知子委員、耕野 一仁委員、福森 十一委員、小引 福夫委員、若山 東男委員、増岡 孝則委員、神野 稔委員、澤田 田鶴子委員、橋本 香里委員

◇欠席委員：須曾野 仁志委員、板井 正斉委員

◇事務局等：教育長、辻教育委員、人権・男女共同参画室 山口係長、市民スポーツ室 田中室長、図書館 松本館長文化生涯学習室 宮前室長、大谷、松下、山下、小川

◇傍聴席：なし

1. あいさつ 上島教育長

2. 議事 社会教育に関する取り組みの状況について

（委員長）今年度最後の社会教育委員会議ということで、前半は社会教育に関する取り組みの状況、後半については前回名張市の地域における生涯学習推進に関する指針について皆さんのご意見を伺いまして、第3回会議録中心に進めさせていただきます。最後に今年度東海北陸社会教育研究大会三重県大会がございますので、お願い等させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。それでは最初に社会教育に関する取り組みの状況について、各室担当者の方から順次説明していただきましてご質問については全室が終わってからしていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

（事務局）項目の順番でご説明させていただきます。

・・・ 各室 担当より説明 ・・・

（委員長）以上で各室から説明がございましたが何かご質問、ご意見あればお願いします。

・・・ 意見無し ・・・

（委員長）第3回社会教育委員会議録の確認ということで、皆さんのお手元に事前に送付いただいておりますが、ご意見をお願いしたいと思います。前回は、各地域づくりでの活動とか、市民センターで行っている状況を文化生涯学習室と地域経営室が面談しながら資料を作成したものを参考にさせていただいた上で皆さんのご意見をお伺いしました。何かご意見ございませんか。

・各地域のセンターだよりでしか他の地域のことはわかりませんが、生涯学習の部分をメインでやっているところは内容も充実しています。地域づくりと合体しているところは、地域づくりの仕事とセンターでやらなければならない生涯学習の部分が、誰が中心になってやっているのか…館長ひとりではしんどいところだと思います。

貸館業で終わってしまうのではなく、市民センターで市民のために色んなこと、教育的な面も含めてしていることを全面にださないといけない。極端にいうと2分化で担当分けてもいいと思います。

(委員長) センター長というのは常勤ではないのですか。

・常勤ではないです。

・市民センターは地域の活動の拠点という形で、地域づくり委員会の活動もあれば、お子さんからお年寄りまで活動する拠点でもあります。色んな活動の場、あるいは会議の場として使用していきますので、なかなか生涯学習に特化してどうということ是非常に難しいところがあります。もう一点、これは地域によって差があるかもしれませんが、例えば人口の多い地域は、センターのスタッフもそれなりに人数も多いですが、小さなところでは職員が限られておりまして、あれもこれもと言われるととても手がまわらない。教育委員会や地域経営室から、他地域でしていることなど、情報を提供していただきたいなと思います。

地域住民は、生涯学習であろうが、地域づくり委員会の活動であろうが、会合や行事は、住民のとりえ方は一緒です。市民センターでやっているということになりますので、これが生涯学習、これが地域の活動という区分はありません。

・昔は60で定年になったこともありますますが今は70代、75歳ぐらいまで皆さん働きに行かれますので、住民の皆さんが関心を持って、これに行きたいという魅力のあるような活動をやっていかないとなかなか人が集まってこない。働かれているとか、あるいは農作業されているとかで、人もだんだん集まらなくなってきたという実情もあります。

(委員長) 生涯学習リーダーに、『名張市の地域における生涯学習推進に関する指針』がどこまで浸透しているかということもありますが、これの進め方とか広め方ということも考えていくべき。生涯学習リーダーという役職があつてこそ実際活動できる。年2回の市民センター長（生涯学習リーダー）の会議があつたということですがいかがでしたか？

・センター化になる一年前から館長をさせていただいておりますが、今までの公民館から、施設そのものが地域づくり委員会へ委託される組織の中での市民センターの位置づけになっています。推進協議会をする時は、生涯学習リーダーということで参加しますので、それなりの意識は持っていると思います。ところが地元へ帰るとリーダーって何？とそういう位置づけは認識されていない。

・市民センター長（館長）と生涯学習室の室長の認識されていることとちょっと違ったというか、本音のところまで出てきました。地域差があるとか地域の特色があるということ。ある一定のところはうまくいっているということ。また、いやいや色んなことがいっぱいその差がいいというのか、まずい部分もありますよということ。私が危惧していたことは、公民館活動の時には、教育委員会の方からのひとつの方向づけがありましたが、今度はそういうことがなくなるから、地域差や担当されている個人差がやっぱり出ざるを得ないと思います。ということになると、ある一定のプログラムやカリキュラムを作って、教育委員会等がバックアップして行って、生涯学習のための講演か講義の案内を知らせる。各地区で独自性をもってやられていると思いますが、相当苦勞されている部分もあるかと思うので、もう少し踏み込んでいく。うまくいっているだけでなく、情報交換や進め方、方法等、長期計画で進めていく検討についても必要だと思う。そうすると内容が充実していくのではないかと思います。

(委員長) 今回の地域実践発表会では、薦原地域は、センター長ではなく、若い方が発表されました。アンケートもとられていて、今後に生かすための中間発表的なものかなと思いました。そういうアンケートを取る自体が非常に大事で、今後アンケートを活かして中身の充実をはかっていたきたいです。館長だけとか、地域づくりの会長だけが二人三脚でやっても全体的に広がら

ないと思いますので、そういう方が発表もされるということは、当然中身もわかっておられるということだと思います。

・小さな地区では、どちらかと言えば地域づくり委員会とセンターも一緒に、館長も地域づくり委員会の役員になっております。情報もセンターだより一本でやっています。ですから地域によっては差が出る。ただ、活動につきましてはどこでもそうですけど年度予算事業計画がありますのでその中でまわしていくという形をとりますので、やはり新しいことを取り組んでいくことについては事業計画に全部入れていかないと、なかなか途中から入り込めない。それだけ余裕もないというようなどころがありますので、やはり色々な情報や新しい取り組みは、4月中旬ぐらいまでに決めてしまわないといけない。

・年間計画を立てる中で、マンネリ化になってしまわないよう、推進協議会の中で職員同士の意見交換をして色々な事を取り入れてくる必要があると思います。

(委員長) それは市民センターの計画なのか、地域づくりの計画なのか。

・地域づくりの計画の中に市民センターでしようとしていることを入れていると思います。子どものこと、高齢者のこと、地域づくりで思っていること。場所をセンターで中心に年何回か入れてほしいという形で、あと細かいところは任せるという感じでだと思います。

(委員長) 昔は、公民館まつりということで公民館の職員だけでやられていたと思いますけれど、現在の市民センターまつりは、地域づくりも一緒に皆さん協力してやっておられますよね。

・歴史も違うわけですので、各地域の活動が一律にこうあるべきだというのはなかなか難しいと思います。他の地域の活動を見て、取り入れることもいいと思います。色々な講座をひらいたり、学習会をひらいたりしてその人たちが市民センターまつりなどに関わってやっていただいているというのはありますけれど、活動していく時の情報提供のありがたさが不足しているかなと思ったり、生涯学習についての指針がありますが、各地域これを手元においてやっていることはなかなかないのが現実かなと思いますので、どういう生涯学習活動を行っていったら望ましいのかという講座をひらいたり、情報提供したりしていかないと、それぞれ特色をもった活動をされているでしょうけども、そこからもう一歩前に進めていくのはなかなか難しいと思うので、今おっしゃっていただいた面を強化していくというか充実させていくことが大事なことだと思います。

(委員長) 以前から、地域生涯学習推進指針はありますが、名張市としての生涯学習の推進計画がないのが現状です。指針をさらに一歩進めた形の、名張市自体の計画を作成して、やはりできるだけ各地域にまんべんなく情報提供、それから講師の派遣であるとか色々な相談であるとか、そういうようなものが、生涯学習センター構想も教育要覧等にも書いてはありますが、その辺がまだ宙に浮いたような形になっています。

前に県の方からいただいた資料で、三重県の生涯学習センター、皆さんご存知かと思いますが三重県総合文化センターの中にございます。それから四日市は「なや学習センター」という名称です。伊賀市には「伊賀市生涯学習センター」ハイトピア5階にあります。伊勢市は「伊勢市生涯学習センター」と、もともとの二見町「伊勢市二見生涯学習センター」と伊勢市には2か所ございます。志摩市に「志摩市磯部生涯学習センター」、紀宝町に「紀宝町生涯学習センター」ということで非常に学習センター自体は少ない状況になっています。この近くで言うと松阪とか鈴鹿とかその辺は

全く生涯学習センターがない。あったからと言ってこの辺の充実がどういう風にされるかということとは別にして、やはり拠点があるということはいいい生涯学習を市民の皆さまも関心もっていただけると思う次第です。

(委員長) 今日のご意見も踏まえながら、何かの形で市民の方にも生涯学習を広めて名張市の活性化にもつなげていきたいなと思いますのでよろしく願いいたします。

ではその他の事項について、東海北陸研究大会について、事務局の方から説明お願いいたします。

(事務局) 第50回社会教育研究大会について説明

- ・平成31年度は三重県大会 (10月10日・11日)
- ・8月中旬 参加申込締切予定
- ・公用車、マイクロバスで参加

(委員長) 補足説明をします。今回は記念トークライブということで、青山学院大学の教授、全国社会教育委員連合会会長の鈴木真理さんと、三重県生涯学習センター所長の長島りょうがんさん(元尾鷲市の中学校の校長)との対談ということも予定されています。分科会は5つあり、家庭教育支援、青少年健全育成、地域文化の振興、地域の活性化、社会教育委員の役割と課題というテーマで例年通り。分科会に参加させていただくと、色んな地域の活動の発表ということで勉強になることも多いので、参加の方お願いしたいと思います。三重県で開催されるということでこういう機会、他県の方との情報交換会もありますので、ぜひご参加ください。これから実行委員会も始まりますので、その都度報告させていただきます。

以上で社会教育委員会を終了させていただきます。

## 社会教育に関する取り組みの状況

(単位：千円)

項 目	内 容	小 事 業	30年度予算 (12月補正後)	予算執行済額 (1月末現在)	31年度 当初予算
1. 生涯学習の総合的推進	(1) 生涯学習によるまちづくりの推進 (2) 生涯学習活動に関する相談・支援体制の充実 (3) 地域・家庭の教育力の向上 (4) 社会教育関係団体の育成 (5) 社会教育施設の充実	社会教育総務一般経費	3,052	2,171	3,026
		生涯学習推進事業	200	0	200
2. 人権教育と啓発の推進	(1) 人権教育の推進 (2) 啓発活動の推進 (3) 教育集会所活動の充実	人権センター運営交付金	1,740	1,740	1,740
		人権推進費	1,835	1,481	1,717
		人権・同和教育推進協議会運営補助金	1,030	1,030	1,030
		教育集会所管理費	1,652	577	1,270
		人権政策総務費（うち社会同和教育指導員2名分）	4,863	4,128	4,848
		人権のまちづくり推進委託事業	3,230	3,230	3,230
3. 青少年の健全育成	(1) 青少年健全育成関係団体との連携 (2) 家庭・地域・学校等が連携・協力した活動の推進 (3) 体験活動の推進 (4) 社会環境浄化と非行防止活動の推進 (5) 青少年の安全を守る活動の推進 (6) 青少年に係る相談活動の充実	学校支援地域本部事業	2,406	252	2,119
		放課後子ども支援事業	1,458	1,032	1,458
		青少年健全育成事業	585	516	534
		青少年補導センター事業	528	73	524
		成人式行事経費	445	63	445
		青少年健全育成事業補助金	228	228	228
4. 文化芸術活動の振興	(1) 文化芸術団体をはじめ市民ボランティアとの連携、支援 (2) 音楽、美術、文芸、演劇活動等の支援 (3) 文化施設と連携した芸術鑑賞事業の提供 (4) 能楽をはじめ地域の特色ある文化芸術の振興 (5) 地域の文化芸術の発信と相互交流の促進	文化振興費	1,922	1,762	1,730
		ふるさと能文化振興事業	2,212	1,857	2,911
		青少年センター管理費	29,837	28,553	29,590

項 目	内 容	小 事 業	30年度予算 (12月補正後)	予算執行済額 (1月末現在)	31年度 当初予算
5. 文化財等の保存・活用	(1) 文化財、文化的資源の保存・活用 (2) 埋蔵文化財の保護、保存 (3) 歴史、民俗文化財等の整理、保存、公開 (4) 史跡等の公有地化と活用 (5) 講師等の派遣による、まちづくりへの参画	文化施設管理費 文化財保護費 オオサンショウウオ緊急調査事業 赤目の溪谷復旧事業 郷土史編さん事業 郷土資料館木質化事業	7,966 1,929 2,826 5,834 620 4,293	7,098 1,815 2,762 0 433 3,836	7,957 1,882 2,831 0 801 0
6. 図書館機能の充実	(1) 図書及び資料収集の充実 (2) 図書館サービスの向上 (3) 関係機関との相互協力の推進	図書館管理費 図書館運営費 なばり本の帯コンクール事業 図書館改修事業	17,103 49,000 25 —	11,522 35,572 0 —	19,710 48,510 25 3,380
7. 生涯スポーツの振興	(1) 生涯スポーツ施策の計画的な推進 (2) スポーツ・レクリエーション活動推進体制の整備充実 (3) スポーツ・レクリエーション活動の機会提供 (4) 競技力向上体制の整備 (5) 学校体育施設開放事業の促進 (6) 体力向上の推進 (7) スポーツ・レクリエーション施設の整備充実 (8) 指定管理者による施設の管理・運営推進	勤労者福祉会館費 武道交流館いさいき管理費 保健体育総務一般経費 スポーツ活動振興費 日中スポーツ友好交流事業 体育施設管理費 総合型地域スポーツクラブ創設事業 市民陸上競技場改修事業 三重国体準備事業	333 13,094 5,938 7,731 300 37,958 1,200 41,985	0 9,353 3,573 6,031 300 27,867 1,200 41,975	537 12,860 3,486 8,332 0 37,207 1,200 0
8. 市民センター活動の推進	(1) 指定管理者による市民センターの管理・運営推進 (2) 地域づくり組織活動との連携、支援 (3) 特色ある市民センター活動の展開 (4) 学校及び各種団体等と連携した活動の推進	市民センター費 市民センター整備事業	100,723 24,610	97,869 5,764	97,008 4,560